

# 第19期通常総会議案書

日時:2022(令和4)年6月18日(土)16:00~17:00  
会場:オークスプラザ 研修室1  
参加アドレス:<https://meet.google.com/jox-ogux-pdg>

## 議 題

- 第一号議案 2021年度事業報告並びに活動計算書承認の件
- 第二号議案 2022年度事業計画及び活動予算案決定の件
- 第三号議案 役員選出の件
- 第四号議案 短期借入金最高限度額決定の件
- 第五号議案 その他

## 添付資料

- 資料1 活動日誌
- 資料2 暖談の会開催レポート
- 資料3 新聞記事

特定非営利活動法人 九州バイオマスフォーラム

# 第一号議案 2021年度の活動報告並びに活動計算書承認の件

## 1. 事業概況報告

### (1) 当初事業方針

2020年10月末に、菅総理が2050年までに脱炭素社会を実現することを表明しました。続いて、総理は2021年4月に2030年までに46%CO<sub>2</sub>削減を表明するなど、バイオマス利活用の重要性が増しています。弊団体でも草の根的な活動と並行して、自治体や企業へのコンサルティング業務等を通じて、脱炭素社会の実現に向けての支援体制を強化したいと思います。

一方で、新型コロナによる感染拡大の影響が見通せないため、イベントやセミナーなどの開催については、十分な感染対策とインターネットによるオンラインセミナーなどのツールを生かして実施を検討していきたいと思います。昨年と同様に野外での3密にならないイベントについては、可能な限り実施していく方針で進めたいと思います。

#### <個別事業>

##### ① 広報啓発事業

バイオマスに関する相談業務を通じて、バイオマスに関する人材育成や情報提供を行います。

##### ② 地域モデル推進事業

阿蘇地域を中心に熊本県内にあるバイオマスを活用することで、ローカルシンクタンク・DOタンクとして、脱炭素社会の実現やバイオマス利活用に向けた調査や仕組みづくり・事業の具体化を進めます。また、今年度からエネルギーの地産地消をすすめる取り組みとして、地域新電力の設立支援を進めていきます。

##### ③ 出前講座および専門家派遣事業

出前講座については、関係団体と協力しながら環境教育を実施していきます。専門家派遣事業については、自治体や企業へのコンサルタント事業を通じて、バイオマス利活用の仕組みづくりを進めていきます。

##### ④ 収益事業

薪やバイオマス熱利用機器の販売事業を中心に引き続き事業を発展・継続していきます。

### (2) 2021年度の総括

- 国や自治体の脱炭素社会への計画づくり等で、コンサルティング事業の委託事業の実績をつくることができました。
- 新型コロナの感染拡大が断続的に継続したことや、事務局体制の人手不足などにより、オンラインセミナー等の開催はできませんでした。
- ウッドショックの影響により、必要十分な薪の生産量を確保することができませんでしたが、薪の乾燥システムの活用により、乾燥した薪の供給継続に努めました。
- 環境省の進めている脱炭素先行地域づくりなどの交付金事業や、地域マイクログリッド構築に関する知見を得ることができました。

### (3) 事務局概況報告

2022年度の事務局体制は、薪製造のパート・アルバイトを含め7名体制でスタートしました。ウッドショックの影響により薪の在庫不足が生じたため薪生産体制強化が必要となり、8～9月に2名採用しました。南阿蘇村等のコンサルティング事業を実施するために、10月から1名臨時職員を雇用しました。また事務職員が9月末に1名退職したため、事務職員として12月からパート・アルバイトを2名採用しました。2022年4月現在で、事務職・薪製造のパート・アルバイト・臨時職員を含め、11名の体制となっております。

## (4) 2021年度の事業概要

## ① 特定非営利活動に係る事業(2021年4月1日～2022年3月31日)

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
広報・啓発事業	(1)ニュースレターの発行	—	—	1	200人	0
	(2)インターネットによる情報発信	随時	—	1	不特定多数	12
	(3)視察・見学の受け入れ	随時	阿蘇市	1	1人	0
	(4)セミナー開催	0回	九州内	1	不特定多数	0
バイオマス利用地域モデル推進事業	(1)地域新電力設立・脱炭素化支援事業	通年	九州内	2	不特定多数	23,345
	(2)九州薪・木質ペレット活用協議会	通年	九州内	2	不特定多数	2,119
	(3)野草資源小委員会事務局運営	年4回	阿蘇市	1	17	0
	(4)コンサルティング業務	通年	全国	2	不特定多数	3,405
出前講座および専門家派遣事業	(1)各種イベント・セミナー等への講師の派遣・コーディネート	通年	全国	1	不特定多数	155
	(2)出前講座 野草紙等、体験型環境学習の実施	通年	阿蘇郡	2	200人	78

## ② その他の事業(2021年4月1日～2022年3月31日)

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
その他の事業	①バイオマス利用に関する書籍・資料・ソフトウェア・データ等の販売	随時	セミナー会場等	1	20	0
	②ペレットストアやバイオマスプラスチック製品などのバイオマス関連製品の販売	随時	九州内	1	—	0
	③薪・ペレット・草などのバイオマスの生産・販売・流通事業	随時	九州内	3	500	18,027
	④バイオマス活用設備・機器の販売	随時	全国	2	不特定多数	26
	⑤農産物、畜産物、水産物、酒類、飲食物の販売	未定	阿蘇市	—	—	0
	⑥飲食店、小売店の経営	未定	阿蘇市	—	—	0
	⑦会議室、オフィススペースのレンタル、事務代行サービス	未定	阿蘇市	—	—	0
	⑧その他の上記の事業に付随する事業	随時	九州内	1	不特定多数	0

## (5) 事業報告

### ① 活動日誌

資料1をご覧ください。

### ② 広報啓発事業

#### (ア) 会報・インターネットによる情報発信

ニュースレターに関しては、暖談の会の活動レポートを発行しました(資料2)。また、フェイスブックやホームページ等で暖談の会のイベント告知などの情報発信を行いました。

#### (イ) 視察・見学・研修生の受け入れ

薪の乾燥システムについて、数件の視察の受入がありました。

#### (ウ) セミナー・展示会・視察ツアーの開催

新型コロナの感染拡大や事務局の人員体制の問題もあり、開催いたしませんでした。

#### (エ) 新聞記事・メディア掲載実績

2021年11月18日の熊本日日新聞に暖談の会の参加者の体験談の記事が掲載されました。2022年2月1日の熊本日日新聞・2022年3月の阿蘇市広報誌に、草原再生オペレーター組合が受賞した「ディスカバー農山漁村の宝(コミュニティ部門)」について記事が掲載されました(資料3)。

2022年2月13日に毎日放送系列(RKB・RKK)の番組「世界一の九州が始まる！」において、薬師堂理事長の開発した薪乾燥システムについて放送されました。

### ③ バイオマス利用地域モデル推進事業

#### (ア) コンサルティング業務

自治体企業などに対して、以下の通りコンサルティングの委託業務を実施しました。

- 南阿蘇村：脱炭素にむけた戦略づくり
- 大木町：地域マイクログリッド構築に向けた計画策定
- 篠栗町：再エネの最大限導入に向けたゾーニングのためのポテンシャル調査
- 民間企業：廃棄物のエネルギー利用に関する助言・調査、木質燃料の乾燥技術に関する助言

#### (イ) 九州薪・木質ペレット活用協議会(KFWA)

KFWAでは、新型コロナの感染対策を実施しながら、例年実施している森づくり活動「暖談の会」を実施しました(表1)。具体的な活動としては、伐倒実演、安全講習、チップ化体験、チェーンソー体験・薪割り体験を行いました(資料2)。2021年度は、一般財団法人セブン-イレブン記念財団・熊本県補助事業「熊本県民の未来につなぐ森づくり事業」・公益財団法人再春館「一本の木」財団の助成を受けることができました。

親子で参加された方が、熊本日日新聞に感想を投稿され、記事として掲載されました(資料3)。



表1 暖談の会開催概要

日程	参加者数	会場	内容
10月16日	49名	南阿蘇村 グリーンピア南 阿蘇	1. 伐倒実演
10月23日	41名		2. 木材搬出体験
10月30日	43名		3. 枝葉などの林地残材の有効活用を推進するための現場体験
			4. 機材の使い方・安全講習
			5. 自然と人間の共生や災害に強い森づくり、森林保全についての講話
			6. チェーンソー体験
			7. 薪割り体験



伐倒実演



木材搬出体験



枝葉のチップ化体験



講話



チェーンソー体験



薪割り体験

(ウ) 草本系バイオマスの活用(草原再生オペレーター組合事務局業務)

KBF が設立当初から取り組んできた阿蘇地域の草本系バイオマスの活用については、2005～2009 年度に NEDO のエネルギー化実験事業を実施して以降は、堆肥・資材用などのマテリアル利用を中心に進めています。2013 年度以降は、草原再生 OP 組合の事業として野草の生産・販売を進め、KBF はその事務局として支援を行ってきました。2010 年から野草の販売を開始して以降、2018 年度まで9年連続野草の販売売上を伸ばしてしてきました。飼料用野草は、2019 年度の在庫を 2020 年度に繰り越して販売したため、2021 年度は前年度に比べ見かけ上、大幅に売上が落ちています。現状の飼料用野草在庫も、予約により販売先が確定していますが、納品・売上は次年度に繰り越す見込です。

2021 年度の採草面積は、当初目標の 160ha に対して約 151.7ha の採草を行いました。

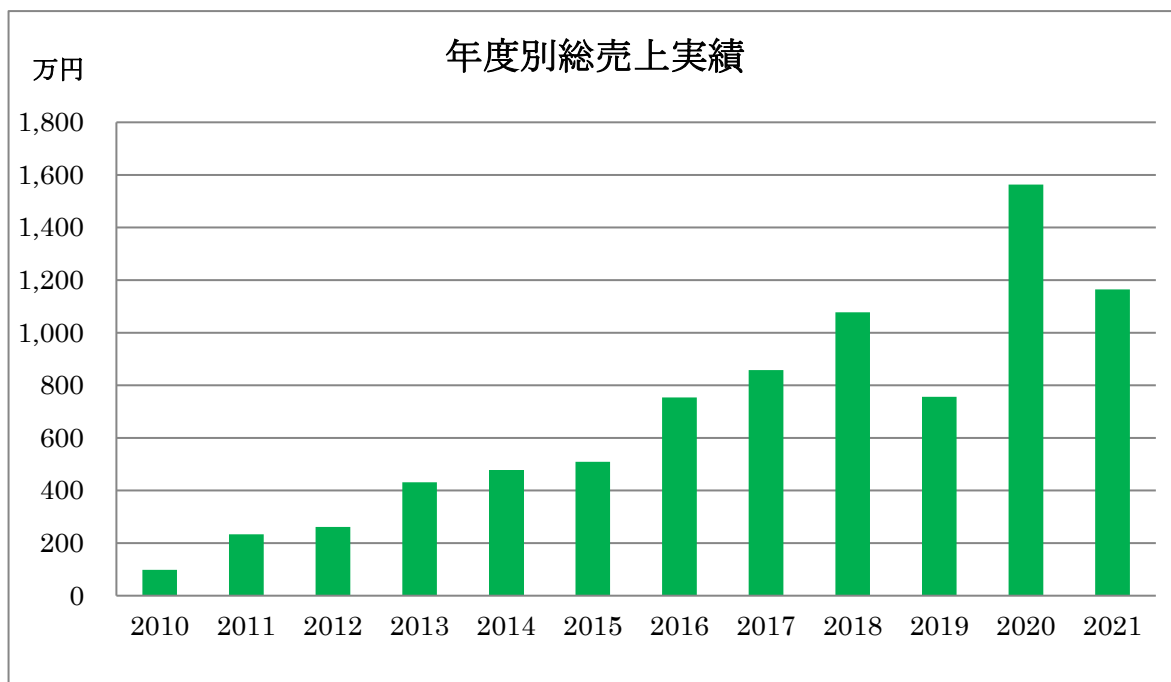


図 草原再生 OP 組合の野草の年度別売上の推移  
※KBF の収入ではありません

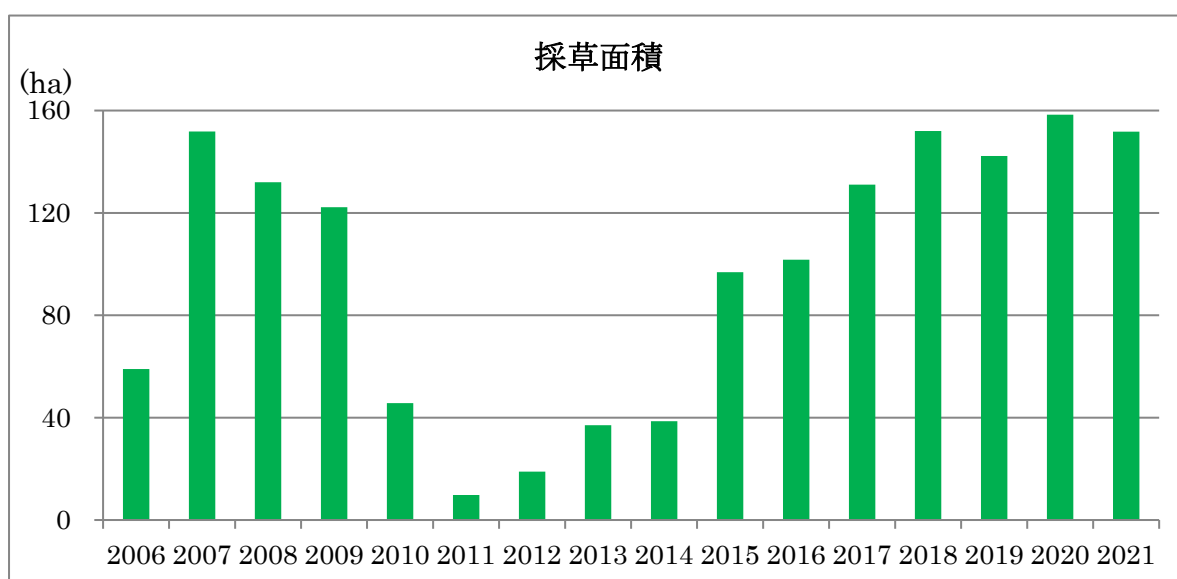


図 阿蘇の草原の採草面積の推移(ha)

④ 出前講座および専門家派遣事業

(ア) 専門家派遣事業

以下の案件に関して専門家を派遣しました。

新潟県内バイオマス発電所 チップ乾燥技術・発電システムに関する助言

(イ) 出前講座(環境教育)

2021年度は、人員体制の不足により、環境省・草原学習館の主導のもとに機材の貸し出しという形で、体験型草原環境学習事業に協力いたしました。

草原のススキが入った「卒業証書」づくり

	実施月	対象	人数
1	12月21日	阿蘇小学校	44

⑤ その他の事業(収益事業)

(ア) バイオマス利用に関する書籍・資料・ソフトウェア・データ等の販売。

2021年度は、セミナー等のイベントなどがなかったため、販売しませんでした。

(イ) ペレットストーブやバイオマスプラスチック製品などのバイオマス関連製品の販売。

A) トイレットペーパーの販売

阿蘇市内の観光施設を中心に、トイレットペーパーを販売しました。売上は約7万円でした。

B) 野草紙製品の販売

環境教育を支援する物品販売事業として位置づけ、名刺・ハガキ・賞状などの野草紙製品の製造販売を行いました。売上は約11万円でした。

(ウ) 薪・チップ・ペレット・草などのバイオマス関連製品の生産・販売・流通事業。

A) 灰の販売

2021年度の販売売上は11,000円でした。

B) 木質ペレットの販売

2021度は例年並みの約207万円でした。

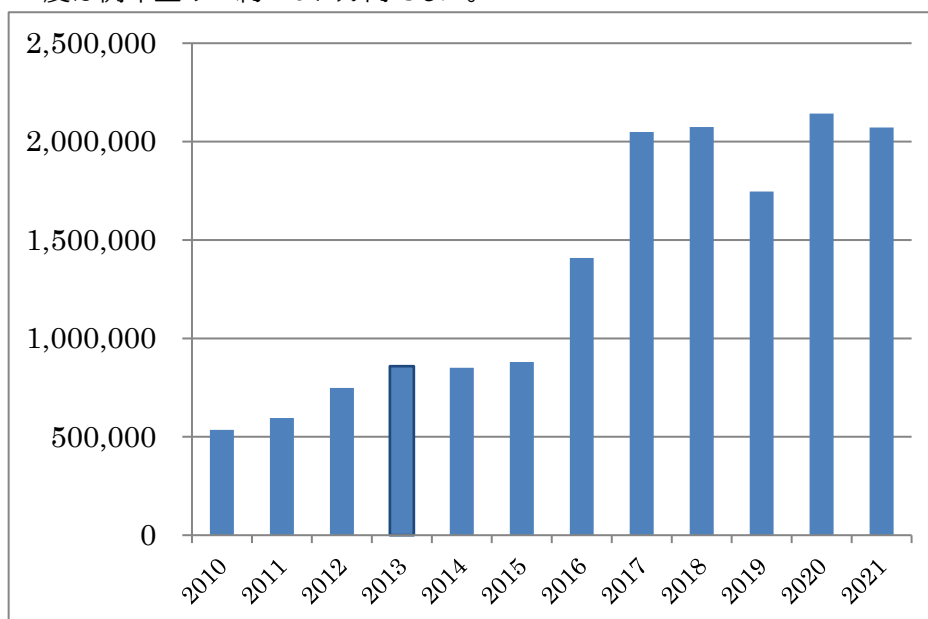


図 木質ペレットの売上の推移



### C) 薪の生産・販売

2021年4月ごろからウッドショックの影響により、薪生産の原木の調達が困難となりました(図1)。製材用の原木価格は、ピーク時には通常の倍の価格で取引されるほど、木材価格上昇が起こり、単価の安い薪用の原木の優先順位が下がったことで、原木不足が生じました。また、外部に委託していた薪生産量も人手不足で減少したことから、極端な品不足となりました。9月頃から原木の調達が再開し、2名の新規雇用を行って生産体制も強化しつつ、前年度に開発した薪乾燥システムをフル稼働して既存の顧客への薪販売を継続しましたが、売上は前年よりも約300万円落としてしまいました。

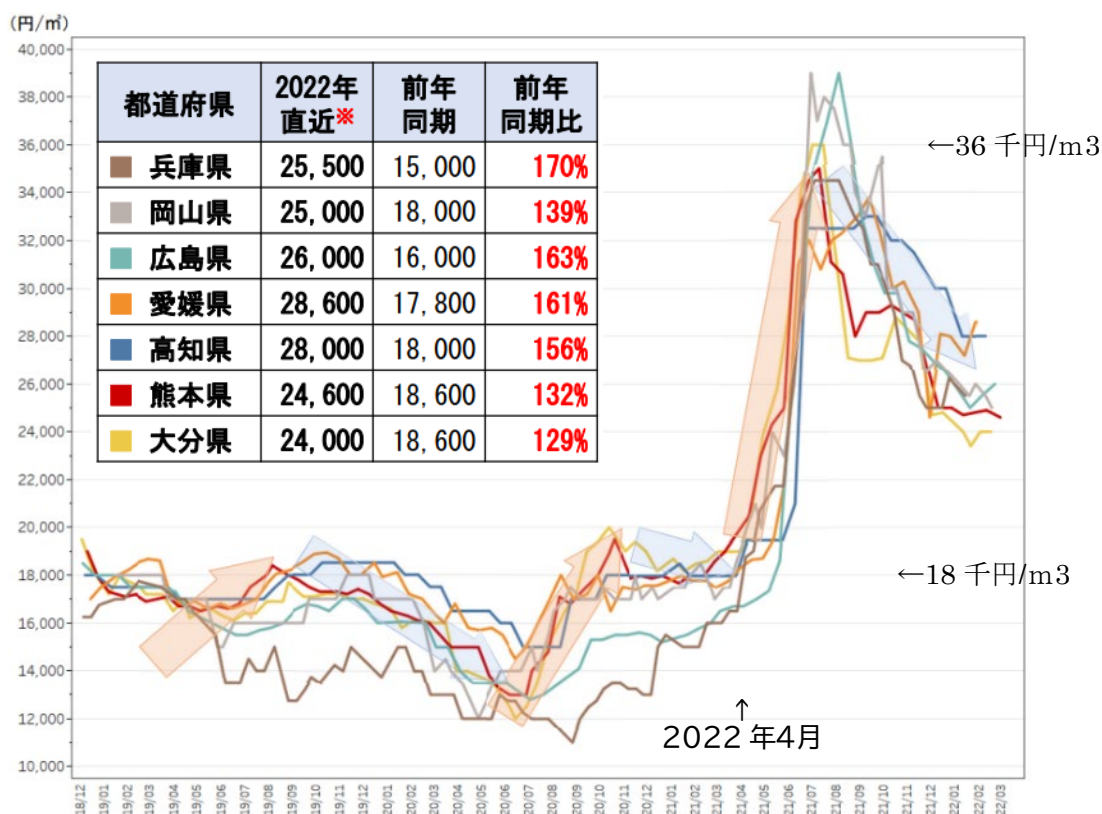


図1 全国の原木価格(林野庁資料)

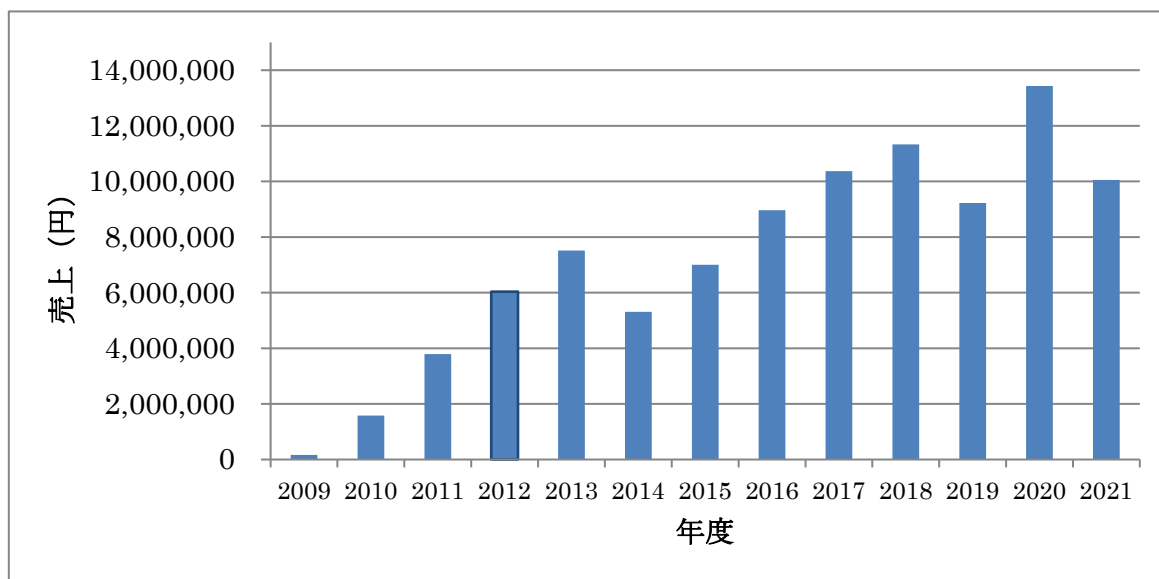


図2 薪の販売売上の推移



- (エ) バイオマス活用設備・機器の販売。  
2021年度は薪・チップの乾燥システムの営業活動を行いました。一部部品を販売したのみで、販売売上はほとんどありませんでした。
- (オ) 農産物、畜産物、水産物、酒類、飲食物の販売。  
2021年度は、事業を実施しませんでした。
- (カ) 飲食店、小売店の経営。  
2021年度は、事業を実施しませんでした。
- (キ) 貸会議室、オフィススペースのレンタル、事務代行サービス。  
2021年度は、事業を実施しませんでした。
- (ク) その他上記の事業に付随する事業。  
2021年度は、事業を実施しませんでした。

⑥ 2021年度決算報告

2021年度の決算は、経常収入合計が前年度と比較して約300万円程度伸びた一方で、新型コロナウイルスの影響によるウッドショックにより原木の調達ができず、薪の売上が約300万円落ちました。薪の生産体制強化のために、人員の拡大と原木仕入れを増やしたことにより、赤字が211万円となりました。コロナ関連の事業復活支援金(計100万円)や、雇用関連の給付金(約40万円)の収入については、翌年度繰り越しとなっているため、国の制度による支援は、2021年度決算には反映されていません。これまでの累積赤字もあることから、次年度に赤字解消をすることが重要課題となっております。

(次ページに続く)

## (ア) 活動計算書(特定非営利活動およびその他の事業)

2021年4月1日から2022年3月31日まで

科目	金額(単位:円)		
	特定非営利活動に係る事業	その他の事業	合計
I 経常収益			
1 受取会費			
KBF会費収入	514,000		514,000
KFWA会費収入	486,000		486,000
2 受取寄附金	133,511		133,511
3 受取助成金等			
補助金収入	2,565,000		2,565,000
4 事業収益			
①広報啓発事業収益	100,250		
②バイオマス利用地域モデル推進事業収益	29,981,934		29,981,934
③出前講座および専門家派遣事業収益	287,186		287,186
①バイオマス利用に関する書籍・資料・ソフトウェア・データ等の販売事業収益	0		
②ペレットストーブやバイオマスプラスチック製品などのバイオマス関連製品の販売事業収益		0	
③薪・チップ・ペレット・草などのバイオマス関連製品の生産・販売・流通事業収益		12,324,191	12,324,191
④バイオマス活用設備・機器の販売事業収益		30,000	
⑤農産物、畜産物、水産物、酒類、飲食物の販売事業収益		0	
⑥飲食店、小売店の経営事業収益		0	
⑦貸会議室、オフィススペースのレンタル、事務代行サービス事業収益		0	
⑧その他上記の事業に付随する事業収益		0	
5 その他収益			
前期修正益	5,705		5,705
受取利息	35		35
雑収入	187,255		187,255
経常収益計	34,260,876	12,354,191	46,484,817
II 経常費用			
1 事業費			
(1) 人件費			
給料手当	9,673,041	7,082,033	16,755,074
法定福利費	1,237,805	773,660	2,011,465
役員報酬	1,850,000		1,850,000
退職金	200,000		200,000
人件費計	12,960,846	7,855,693	20,816,539
(2) その他経費			
売上原価	199,695	4,868,208	5,067,903
謝金	592,340		592,340
福利厚生費	230,826	3,891	234,717
通信運搬費	314,262	151,717	465,979
光熱水費	153,114	175,473	328,587
旅費交通費	758,178	129,840	888,018
広告宣伝費			0
渉外費	127,295	7,600	134,895
会議費	23,212	7,060	30,272
消耗品費	1,473,503	851,392	2,324,895
什器備品費			0
図書資料費	140,192	150	140,342

	印刷製本費	9,989	9,130	19,119
	賃借料	426,374	1,093,440	1,519,814
	業務委託費	9,445,362	112,200	9,557,562
	車両費	12,285	577,239	589,524
	車両燃料費	119,146	689,663	808,809
	保険料	66,979	328,420	395,399
	租税公課	1,646,395	498,601	2,144,996
	諸会費	193,572	3,000	196,572
	慶弔費			0
	支払手数料	64,598	119,257	183,855
	減価償却費	157,058	544,094	701,152
	支払利息		27,386	27,386
	その他経費計	16,154,375	10,197,761	26,352,136
	事業費計	29,115,221	18,053,454	47,168,675
2	管理費			
(1)	人件費			
	給料手当	514,982		514,982
	法定福利費	165,482		165,482
	人件費計	680,464	0	680,464
(2)	その他経費			
	謝金			0
	福利厚生費	25,649		25,649
	通信運搬費	32,063		32,063
	光熱水費	17,015		17,015
	旅費交通費	15,258		15,258
	渉外費	1,564		1,564
	会議費	156		156
	消耗品費	6,882		6,882
	図書資料費	12,303		12,303
	賃借料	46,050		46,050
	業務委託費	195,540		195,540
	車両費	1,365		1,365
	車両燃料費	2,108		2,108
	保険料	700		700
	租税公課	42,204		42,204
	諸会費	32,828		32,828
	慶弔費	10,000		10,000
	支払手数料	6,357		6,357
	減価償却費	0		0
	支払利息	400,539		400,539
	固定資産除却損			0
	前期修正損			0
	法人税・住民税及び事業税	71,004		71,004
	その他経費計	919,585	0	919,585
	管理費計	1,600,049	0	1,600,049
	経常費用計	30,715,270	18,053,454	48,768,724
	当期経常増減額	3,545,606	-5,699,263	-2,153,657
III	経常外収益			
1	過年度損益修正益			0
	経常外収益計	0	0	0
IV	経常外費用			
1	過年度損益修正損			0
	経常外費用計	0	0	0
	経理区分振替額	-5,699,263	5,699,263	0
	当期正味財産増減額	-2,153,657	0	-2,153,657
	前期繰越正味財産額	-2,325,615	0	-2,325,615
	次期繰越正味財産額	-4,479,272	0	-4,479,272

活動計算書の注記

1) 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。

① 収益及び費用の計上基準

収益・・・実現主義

費用・・・発生主義

② 固定資産の減価償却の方法

建物の減価償却は定額法、車両運搬具、機械装置、器具備品は定率法によっています。

③ 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

④ 借入金の増減内訳

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
疑似私募債	10,400,000	0	0	10,400,000

2) 固定資産の増減内訳

科目	期首取得額	取得	減少	期末取得額	減価償却累計額	期末帳簿価額
建物	0			0	0	0
機械装置	4,378,630			4,378,630	842,090	3,536,540
車両運搬具	4,896,200			4,896,200	825,659	4,070,541
器具及び備品	15,059,905	181,500		15,241,405	4,005,802	11,235,603
合計	24,334,735	181,500	0	24,516,235	5,673,551	18,842,684

3) 事業費の内訳

科目	特定非営利活動に係る事業			小 計	その他の事業					小 計	合 計
	広報啓発事業	バイオマス利用地域 モデル推進事業	出前講座および 専門家派遣事業		バイオマス利用に関 する書籍・資料・ソ フトウェア・データ等の 販売	ペレットストーブやハイ オマスプラスチック製品 などのバイオマス関 連製品の販売	薪・ペレット・草など のバイオマスの生 産・販売・流通事 業	バイオマス活用設 備・機器の販売	その他左記の事 業に付随する事 業		
(1) 人件費											
給料手当		9,456,747	216,294	9,673,041			7,061,441		20,592	7,082,033	16,755,074
法定福利費		1,237,805		1,237,805			773,660			773,660	2,011,465
役員報酬		1,850,000		1,850,000						0	1,850,000
退職金		200,000		200,000						0	200,000
人件費計	0	12,744,552	216,294	12,960,846	0	0	7,835,101	0	20,592	7,855,693	20,816,539
(2) その他経費											
売上原価		195,179	4,516	199,695			4,822,342		45,866	4,868,208	5,067,903
謝金		592,340		592,340						0	592,340
退職金				0						0	0
福利厚生費		230,826		230,826			3,891			3,891	234,717
通信運搬費		313,112	1,150	314,262			151,717			151,717	465,979
光熱水費		153,114		153,114			175,473			175,473	328,587
旅費交通費		753,028	5,150	758,178			125,860	3,980		129,840	888,018
渉外費		127,295		127,295			1,500	6,100		7,600	134,895
会議費		23,212		23,212			4,180	2,880		7,060	30,272
消耗品費		1,473,503		1,473,503			839,147	12,245		851,392	2,324,895
什器備品費				0						0	0
図書資料費		140,192		140,192				150		150	140,342
印刷製本費		9,989		9,989			9,130			9,130	19,119
賃借料		426,374		426,374			1,093,440			1,093,440	1,519,814
業務委託費		9,445,362		9,445,362			112,200			112,200	9,557,562
車両費		12,285		12,285			577,239			577,239	589,524
車両燃料費		119,146		119,146			689,663			689,663	808,809
保険料		60,500	6,479	66,979			328,420			328,420	395,399
租税公課		1,646,395		1,646,395			498,601			498,601	2,144,996
諸会費		193,572		193,572			3,000			3,000	196,572
慶弔費				0						0	0
支払手数料		64,598		64,598			118,779	360	118	119,257	183,855
減価償却費		157,058		157,058			544,094			544,094	701,152
支払利息				0			27,386			27,386	27,386
その他経費計	0	16,137,080	17,295	16,154,375	0	0	10,126,062	25,715	45,984	10,197,761	26,352,136
合計	0	28,881,632	233,589	29,115,221	0	0	17,961,163	25,715	66,576	18,053,454	47,168,675



## (イ) 貸借対照表(法人全体:特定非営利活動およびその他の事業)

2022年3月31日 現在

(単位:円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
<b>【流動資産】</b>		<b>【流動負債】</b>	
(現金・預金)		未 払 金	4,230,743
現 金	96,555	前 受 金	2,914,500
小口 現金	10,882	短期借入金	2,700,000
普通 預金	1,249,006	預 り 金	137,823
現金・預金 計	1,356,443	未払法人税等	71,000
(売上債権)		未払消費税等	1,649,600
売 掛 金	115,060	流動負債 計	11,703,666
未 収 金	6,203,141	<b>【固定負債】</b>	
売上債権 計	6,318,201	擬似私募債	10,400,000
(棚卸資産)		長期借入金	11,686,200
棚卸 資産	977,036	固定負債 計	22,086,200
棚卸資産 計	977,036	<b>負債の部合計</b>	<b>33,789,866</b>
(その他流動資産)		<b>正 味 財 産 の 部</b>	
前払 費用	62,618	<b>【正味財産】</b>	
仮 払 金	237,612	正味 財産	△ 4,479,272
(その他流動資産) 合計	300,230	(うち当期正味財産増加額)	△ 2,153,657
流動資産合計	8,951,910	正味財産 計	△ 4,479,272
<b>【固定資産】</b>		<b>正味財産の部合計</b>	<b>△ 4,479,272</b>
(有形固定資産)			
車両運搬具	4,070,541		
機械及び装置	3,536,540		
什器 備品	11,235,603		
有形固定資産 計	18,842,684		
(投資その他の資産)			
保 証 金	1,200,000		
敷 金	316,000		
投資その他の資産 計	1,516,000		
固定資産合計	20,358,684		
<b>資産の部合計</b>	<b>29,310,594</b>	<b>負債・正味財産の部合計</b>	<b>29,310,594</b>

## (ウ) 財産目録(法人全体:特定非営利活動およびその他の事業)

2022年3月31日 現在

(単位:円)

《資産の部》		
<b>【流動資産】</b>		
(現金・預金)		
現金	96,555	
小口現金	10,882	
普通預金	1,249,006	
現金・預金計	1,356,443	
(売上債権)		
売掛金	115,060	
未収金	6,203,141	
売上債権計	6,318,201	
(棚卸資産)		
棚卸資産	977,036	
棚卸資産計	977,036	
(その他流動資産)		
前払費用	62,618	
仮払金	237,612	
(その他流動資産) 合計	300,230	
流動資産合計		8,951,910
<b>【固定資産】</b>		
(有形固定資産)		
車両運搬具	4,070,541	
機械及び装置	3,536,540	
什器備品	11,235,603	
有形固定資産計	18,842,684	
(投資その他の資産)		
保証金	1,200,000	
敷金	316,000	
投資その他の資産計	1,516,000	
固定資産合計		20,358,684
資産の部 合計		29,310,594
《負債の部》		
<b>【流動負債】</b>		
未払金	4,230,743	
前受金	2,914,500	
短期借入金	2,700,000	
預り金	137,823	
未払法人税等	71,000	
未払消費税等	1,649,600	
流動負債計		11,703,666
<b>【固定負債】</b>		
擬似私募債	10,400,000	
長期借入金	11,686,200	
固定負債計		22,086,200
負債の部 合計		33,789,866
正味財産		△ 4,479,272

(6) 監査報告


## 監査報告書

特定非営利活動法人九州バイオマスフォーラム

理事長 薬師堂 謙一 殿

2022年6月12日

特定非営利活動法人九州バイオマスフォーラム

監事  

私は、特定非営利活動促進法第18条の規定に基づき、2021年4月1日から2022年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

### 1 監査の方法及びその内容

監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び活動計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

### 2 監査意見

#### (1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実  
は認められません。

#### (2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

以上

## 第二号議案 2022 年度事業計画及び活動予算案決定の件

### (2) 2022 年度の活動方針

#### <全体方針>

2022 年度(令和 4 年度)は、環境省に地域脱炭素移行・再エネ推進交付金が新たに 200 億円の予算が組まれるなど、2030 年までの 46%CO<sub>2</sub> 削減に向けて大きく加速する年となりそうです。

2020 年～2021 年度は、新型コロナの感染拡大によりテレビ会議が当たり前となり、木材価格が乱高下するなど想定外の出来事が多くありました。さらに 2022 年 2 月末より、ウクライナにおいてロシアによる侵攻が起こるなど、資源・エネルギー・食料などの物価が高騰し、エネルギーや食糧の安全保障に対するリスクも顕在化してきています。

社会環境が目まぐるしく変わる中、弊団体としては、ますます重要となる循環型社会や脱炭素社会の実現に向けて、これまで通り着実に事業を進めて行きたいと思えます。

#### <個別事業方針>

##### ① 広報啓発事業

新聞やテレビなどのメディアやホームページを通じて、バイオマスや脱炭素社会の実現に向けた情報発信を行っていきます。

##### ② 地域モデル推進事業

阿蘇地域を中心に九州内にあるバイオマスや再エネの最大限の活用を進めるためのローカルシンクタンク・DOタンクとして、脱炭素・循環型社会の実現にむけて調査や仕組みづくり・事業の具体化を進めます。

##### ③ 出前講座および専門家派遣事業

出前講座については、関係団体と協力しながら環境教育を実施していきます。専門家派遣事業については、自治体や企業へのコンサルタント事業を通じて、バイオマスや再エネの利活用の仕組みづくりを進めていきます。

##### ④ その他の事業

薪やバイオマス熱利用機器の販売事業を中心に引き続き事業を発展・継続していきます。

### (3) 2022 年度事業概要

#### ① 特定非営利活動に係る事業(2022 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日)

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
広報・啓発事業	(1)ニュースレターの発行	随時	—	1	200 人	20
	(2)インターネットによる情報発信	随時	—	1	不特定多数	20
	(3)視察・見学の受け入れ	随時	阿蘇市	1	50 人	10
	(4)セミナー開催	1 回	九州内	1	不特定多数	30
バイオマス利用地域モデル推進事業	(1)地域脱炭素化支援事業	通年	九州内	2	不特定多数	15,000
	(2)九州薪・木質ペレット活用協議会	通年	九州内	2	不特定多数	1,800
	(3)野草資源小委員会事務局運営	年 4 回	阿蘇市	1	17	50
	(4)コンサルティング業務	通年	全国	2	不特定多数	7,000

出前講座 および専 門家派遣 事業	(1)各種イベント・セミナー等への講師・ 専門家の派遣・コーディネート	通年	全国	1	不特定多数	1,000
	(2)出前講座 野草紙等、体験型環境学習の実施	通年	阿蘇郡	2	200人	10

② その他の事業(2022年4月1日～2023年3月31日)

定款の 事業名	事業内容	実施 日時	実施 場所	従事 者の 人数	受益対象 者の範囲 及び人数	支出額 (千円)
その他の 事業	①バイオマス利用に関する書籍・資料・ソフ トウェア・データ等の販売	随時	セミナー会 場等	1	20	0
	②ペレットストーブやバイオマスプラスチック製品 などのバイオマス関連製品の販売	随時	九州内	1	—	0
	③薪・ペレット・草などのバイオマスの生産・ 販売・流通事業	随時	九州内	3	500	15,000
	④バイオマス活用設備・機器の販売	随時	全国	2	不特定 多数	4,000
	⑤農産物、畜産物、水産物、酒類、飲 食物の販売	未定	阿蘇市	—	—	0
	⑥飲食店、小売店の経営	未定	阿蘇市	—	—	0
	⑦会議室、オフィススペースのレンタ ル、事務代行サービス	未定	阿蘇市	—	—	0
	⑧その他の上記の事業に付随する事 業	随時	九州内	1	不特定 多数	5

(4) 広報啓発事業

① 会報・インターネットによる情報発信

ホームページやSNS・動画配信を活用して、KBFの活動やバイオマスに関する情報を発信して  
いきます。

② 視察・見学・研修生の受け入れ

バイオマスの普及啓発の一環として、新型コロナの感染対策をしながら可能な範囲で視察受け入  
れを行い、バイオマス利用の実践を学ぶ場を提供します。

③ セミナーの開催

オンラインセミナーなどを活用しながら、開催などに取り組みます。

(5) バイオマス利用地域モデル推進事業

① 地域脱炭素化支援事業

脱炭素社会の実現とエネルギーの地産地消を目指して、九州内のバイオマス活用の推進や、再生可  
能エネルギーの導入、地域マイクログリッドの構築、地域新電力の設立などを支援していきます。

② 九州薪・木質ペレット活用協議会(KFWA)

KFWAでは、これまでと同様に下記の項目について実施していきます。

- ・暖談の会などの薪ストーブユーザー向けの間伐体験・薪づくりワークショップの開催
- ・林野庁地域内エコシステム技術開発事業で開発した薪の乾燥技術について、普及利用をすすめて



いきます。

③ コンサルティング業務

バイオマスの利活用や排熱利用、農林業との連携など、従来おこなってきた草原再生オペレーター組合の事務局支援や、新規事業計画策定・運用改善のコンサルティング、相談業務を受託業務として実施します。

(6) 出前講座および専門家派遣事業

① 専門家派遣事業

自治体や他団体からの要請に応じて、セミナーやシンポジウムに講師を派遣するほか、企業などの要請に応じて専門家を派遣します。

② 出前講座(環境教育)の発展

これまでの環境教育を行う体制が、職員の入れ替わりなどにより、研修や人材育成が必要となっています。関係機関と連携を取りながら、これまで続けてきた事業が実施できるような体制づくりを進めていきます。

(7) その他の事業

① バイオマス利用に関する書籍・資料・ソフトウェア・データ等の販売。

バイオマスに関連する書籍をインターネットなどで販売することで、KBF の運営資金に充てる予定です。

② ペレットストーブやバイオマスプラスチック製品などのバイオマス関連製品の販売。

これまで続けてきたトイレットペーパーの販売を行うほか、木質バイオマスボイラーの燃焼灰を商品化して販売できる体制を整えていきます。

③ 薪・チップ・ペレット・草などのバイオマス関連製品の生産・販売・流通事業。

様々な物価が高騰してきていることや、薪の安定供給に向けた体制づくりの一環として、販売価格の見直しを進めながら、事業の継続性を高めていきます。

④ バイオマス活用設備・機器の販売。

ラジエーター式の熱交換器や薪の乾燥システムの製造販売を行います。2022 年度は、大型の発注がいくつか見込める予定です。

⑤ 農産物、畜産物、水産物、酒類、飲食物の販売。

今年度の予定はありません。

⑥ 飲食店、小売店の経営。

今年度の予定はありません。

⑦ 貸会議室、オフィススペースのレンタル、事務代行サービス。

今年度の予定はありません。

⑧ その他上記の事業に付随する事業。

必要に応じて随時実施する予定です。

## (8) 2022 年度活動予算

2022 年度も、自治体や企業のコンサルティング事業を重点的に実施することで、調査委託事業収入の拡大を図ります。また、既存の木質バイオマス発電所や薪生産事業者から、乾燥施設などの引き合いが増えてきたことから、乾燥機器販売の売上拡大が見込める予定です。また薪の生産拡大を図ることで、これまでの累積赤字の解消を図る予定です。

## 2022 年度 活動予算書

(2022 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日まで)

科目	金額 (単位:円)		
	特定非営利活動に係る事業	その他の事業	合計
I 経常収益			
1 受取会費			
KBF会費収入	570,000		570,000
KFWA会費収入	650,000		650,000
2 受取寄附金	200,000		200,000
3 受取助成金等			
補助金収入	3,150,000		3,150,000
4 事業収益			
①広報啓発事業収益	0		0
②バイオマス利用地域モデル推進事業収益	31,300,000		31,300,000
③出前講座および専門家派遣事業収益	350,000		350,000
①バイオマス利用に関する書籍・資料・ソフトウェア・データ等の販売事業収益		0	0
②ペレットストーブやバイオマスプラスチック製品などのバイオマス関連製品の販売事業収益		0	0
③薪・チップ・ペレット・草などのバイオマス関連製品の生産・販売・流通事業収益		17,100,000	17,100,000
④バイオマス活用設備・機器の販売事業収益		17,000,000	17,000,000
⑤農産物、畜産物、水産物、酒類、飲食物の販売事業収益		0	0
⑥飲食店、小売店の経営事業収益		0	0
⑦貸会議室、オフィススペースのレンタル、事務代行サービス事業収益		0	0
⑧その他上記の事業に付随する事業収益		0	0
5 その他収益			
前期修正益	0		0
受取利息	30		30
雑収入	1,500,000		1,500,000
経常収益計	37,720,030	34,100,000	71,820,030
II 経常費用			
1 事業費			
(1) 人件費			
給料手当	8,000,000	10,500,000	18,500,000
役員報酬	1,000,000	800,000	1,800,000
法定福利費	1,300,000	1,000,000	2,300,000
人件費計	10,300,000	12,300,000	22,600,000
(2) その他経費			
売上原価		12,000,000	12,000,000
謝金	100,000	0	100,000
福利厚生費	230,000	60,000	290,000
通信運搬費	500,000	150,000	650,000
光熱水費	165,000	20,000	185,000
旅費交通費	2,000,000	110,000	2,110,000
広告宣伝費	0	0	0
渉外費	30,000	30,000	60,000
会議費	25,000	8,000	33,000
消耗品費	1,200,000	2,000,000	3,200,000
什器備品費	200,000	0	200,000
図書資料費	100,000	0	100,000
印刷製本費	25,000	7,000	32,000

	賃借料	500,000	1,150,000	1,650,000
	業務委託費	15,000,000	1,200,000	16,200,000
	車両費	2,000	600,000	602,000
	車両燃料費	100,000	700,000	800,000
	保険料	140,000	330,000	470,000
	租税公課	1,000,000	1,000,000	2,000,000
	諸会費	200,000	20,000	220,000
	慶弔費	20,000	30,000	50,000
	支払手数料	68,000	120,000	188,000
	減価償却費	160,000	550,000	710,000
	支払利息	90,000	30,000	120,000
	その他経費計	21,855,000	20,115,000	41,970,000
	事業費計	32,155,000	32,415,000	64,570,000
2	管理費			
(1)	人件費			
	給料手当	750,000		750,000
	役員報酬	0		0
	福利厚生費	160,000		160,000
	人件費計	910,000	0	910,000
(2)	その他経費			
	謝金	0		0
	福利厚生費	26,000		26,000
	通信運搬費	33,000		33,000
	光熱水費	17,000		17,000
	旅費交通費	15,000		15,000
	渉外費	1,500		1,500
	会議費	1,000		1,000
	消耗品費	7,000		7,000
	図書資料費	12,000		12,000
	賃借料	50,000		50,000
	業務委託費	195,000		195,000
	車両費	1,000		1,000
	車両燃料費	2,500		2,500
	保険料	1,000		1,000
	租税公課	42,000		42,000
	諸会費	33,000		33,000
	慶弔費	10,000		10,000
	支払手数料	7,000		7,000
	減価償却費			0
	支払利息	350,000		350,000
	固定資産除却損	0		0
	前期修正損	0		0
	法人税・住民税及び事業税	71,002		71,002
	その他経費計	875,002	0	875,002
	管理費計	1,785,002	0	1,785,002
	経常費用計	33,940,002	32,415,000	66,355,002
	当期経常増減額	3,780,028	1,685,000	5,465,028
III	経常外収益			
1	固定資産売却益	0		0
2	過年度損益修正益	0		0
	経常外収益計	0	0	0
IV	経常外費用			
1	過年度損益修正損	0		0
	経常外費用計	0	0	0
	経理区分振替額	1,685,000	-1,685,000	0
	当期正味財産増減額	5,465,028	0	5,465,028
	前期繰越正味財産額	-4,479,272	0	-4,479,272
	次期繰越正味財産額	985,756	0	985,756

### 第三号議案 役員選出の件

#### (1) 役員選出について

第17期通常総会で選出された役員が、2年間の任期満了となります。現役員の再任として、以下の通り、6人の理事候補と1人の監事候補を事務局から提案します。定款第13条1項に定められた役員の数は、理事5名以上15名以内、監事1名以上2名以内です。

#### (2) 役員候補

##### <理事>

薬師堂 謙一 (独)九州沖縄農業研究センター 専門員  
西原 茂雄 (株)西原商店 社長  
梶原 健次郎 (株)カジワラ 専務取締役  
竹原 隆樹 竹原牧場 代表取締役  
松村 孝明 (株)くぬぎの森 代表取締役  
中坊 真 NPO法人九州バイオマスフォーラム 事務局長

##### <監事>

宮本 孝志 南阿蘇ルナ天文台 台長

### 第四号議案 短期借入金最高限度額決定および長期借入金承認の件

2022年度の事業費は、約7100万円を予定しております。その運転資金として、短期借入金最高限度額は3550万円を上限として、銀行等の金融機関から融資を受けることについて、ご承認願います。

### 第五号議案 その他(意見交換)

ご出席の会員の皆様から、ご意見ご要望がございましたらお願いします。